

上田市立第五中学校改築事業 校舎棟建設工事

安全祈願祭・起工式



日	時	令和5年7月14日（金）午前10時から	
場	所	上田市上野441番地（建設予定地）	
施	主	上田市長 土屋 陽一	
設	計	久高設計・竹原一級建築士事務所設計共同企業体 株式会社 久高設計 竹原一級建築士事務所	
施	工	建築主体工事	宮下・北澤特定建設工事共同企業体 株式会社 宮下組 北澤土建 株式会社
		機械設備工事	日本ガス水道・水工技建特定建設工事共同企業体 日本ガス水道 株式会社 株式会社 水工技建
		電気設備工事	松山・丸子信州特定建設工事共同企業体 松山電機 株式会社 株式会社 丸子信州電気

※パースはイメージです。今後の施工、詳細設計等で変更になる場合があります。



①中庭のあるコンパクトな校舎とバスケットコート正規2面がとれる体育館

令和5年度 第五中学校改築事業 校舎棟建設工事の概要

1 校舎棟の概要

- (1) 構造・階数 鉄骨造・3階建て
- (2) 延べ面積 6,605㎡（農機具庫、物置含む）
- (3) 建築面積 2,735㎡（ 同上 ）
- (4) 外構概要 雨水貯留槽、L型擁壁、雨水側溝、舗装ほか
- (5) 予定工期 令和5年7月3日から令和7年1月31日まで

2 施設整備方針

- ・生徒が主体的に活動でき、安全でゆとりと潤いのある学習環境を整備し、地域との連携・協働の場となる施設整備を進めます。

3 配置計画

(1) 明快な建物配置

- ・北東側に校舎を集約し、体育館と2階連絡通路で接続することで、移動の少ないシンプルな配置とします。
- ・既存同様、陽当たり良好な南側に校庭とテニスコートを配置します。

(2) 生徒の安全確保

- ・登下校時の生徒の安全性を確保するため、歩車分離のアプローチとします。
- ・誰もが安心して施設を利用できるよう、死角を極力抑え、シンプルな建物形状とします。

(3) 避難所機能の強化

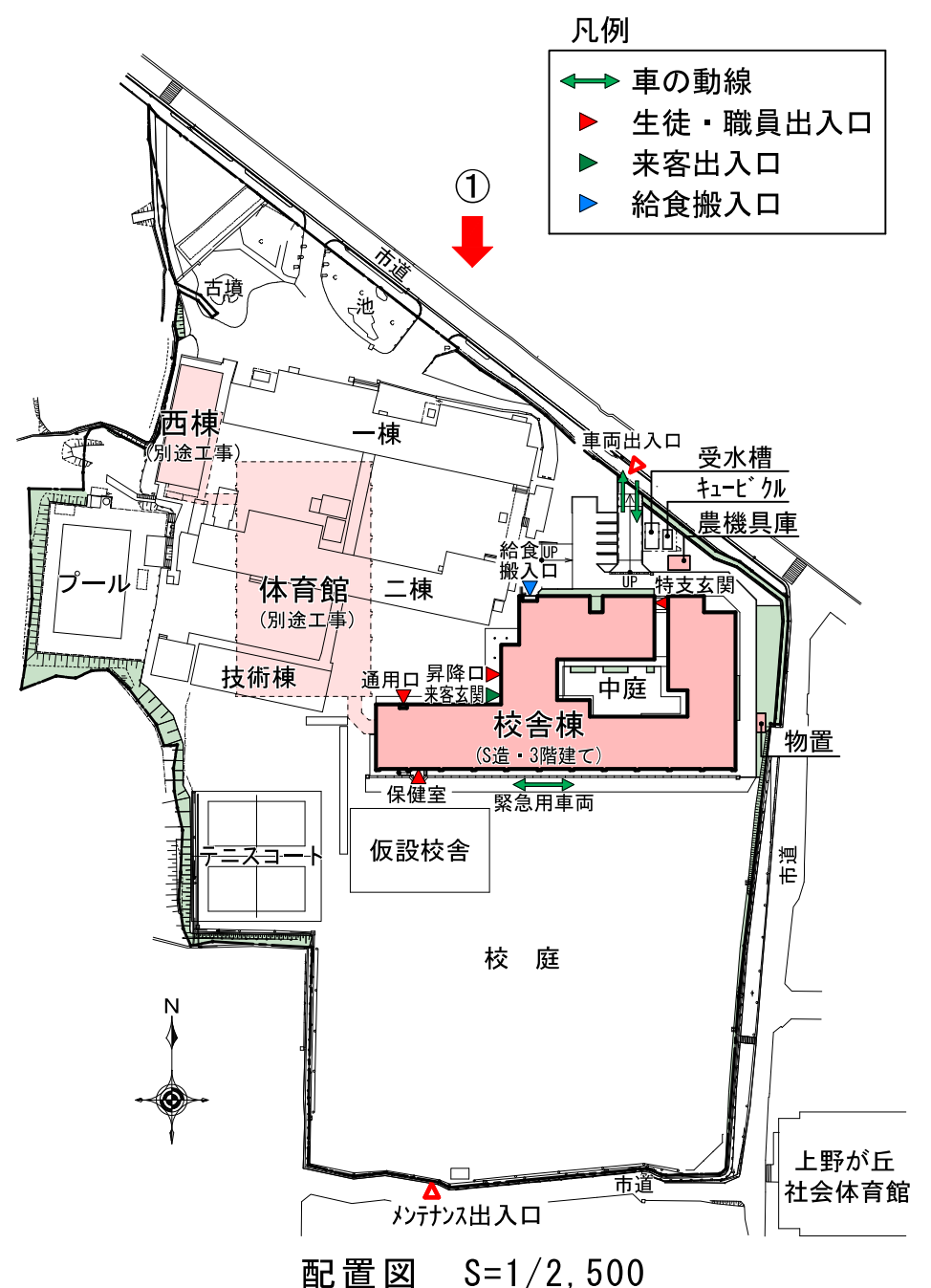
- ・災害発生時必要となる防災倉庫やマンホールトイレ、通信回路等を整備し避難所機能の向上を目指します。

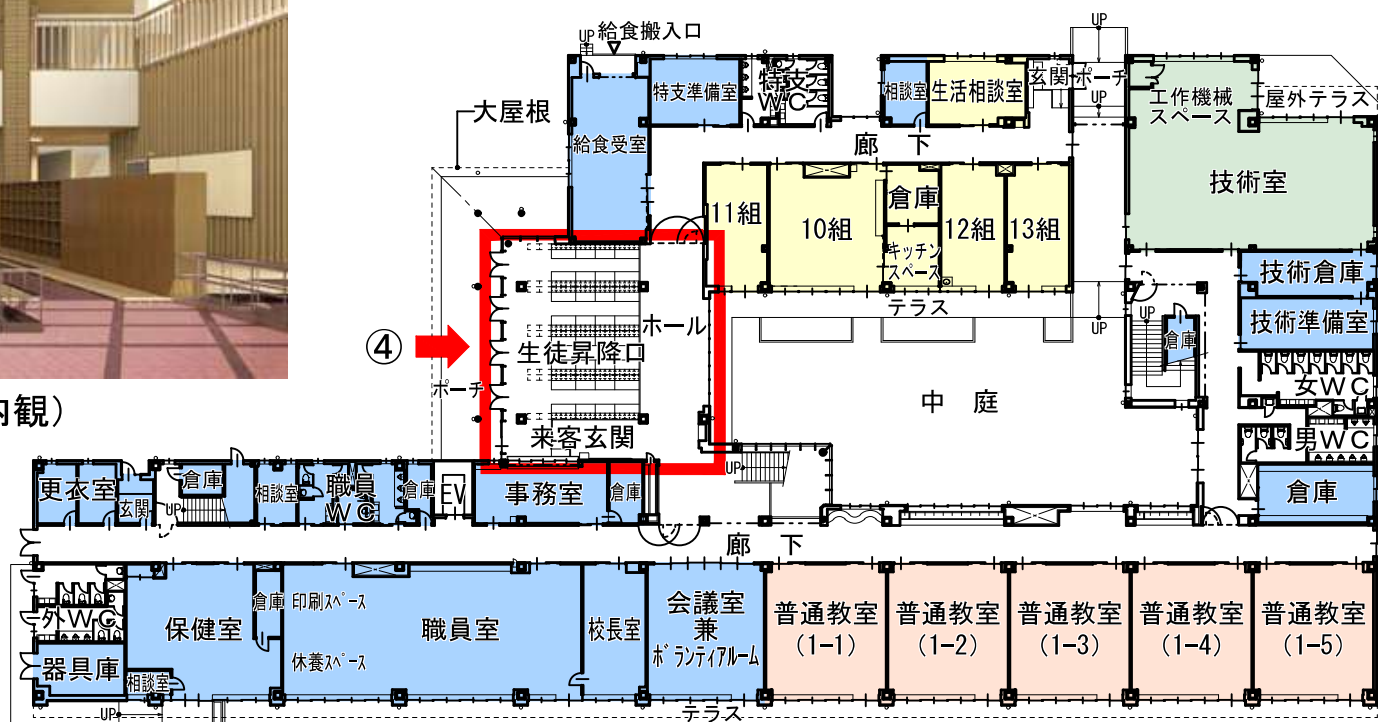
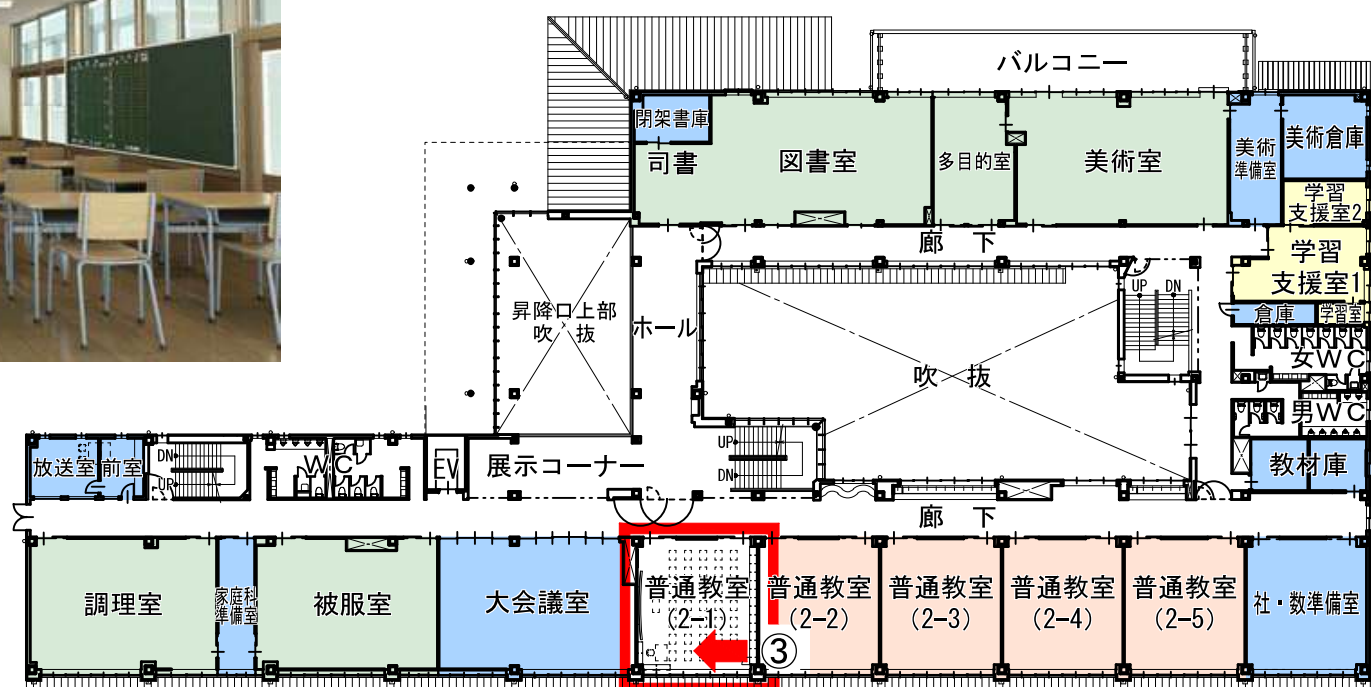
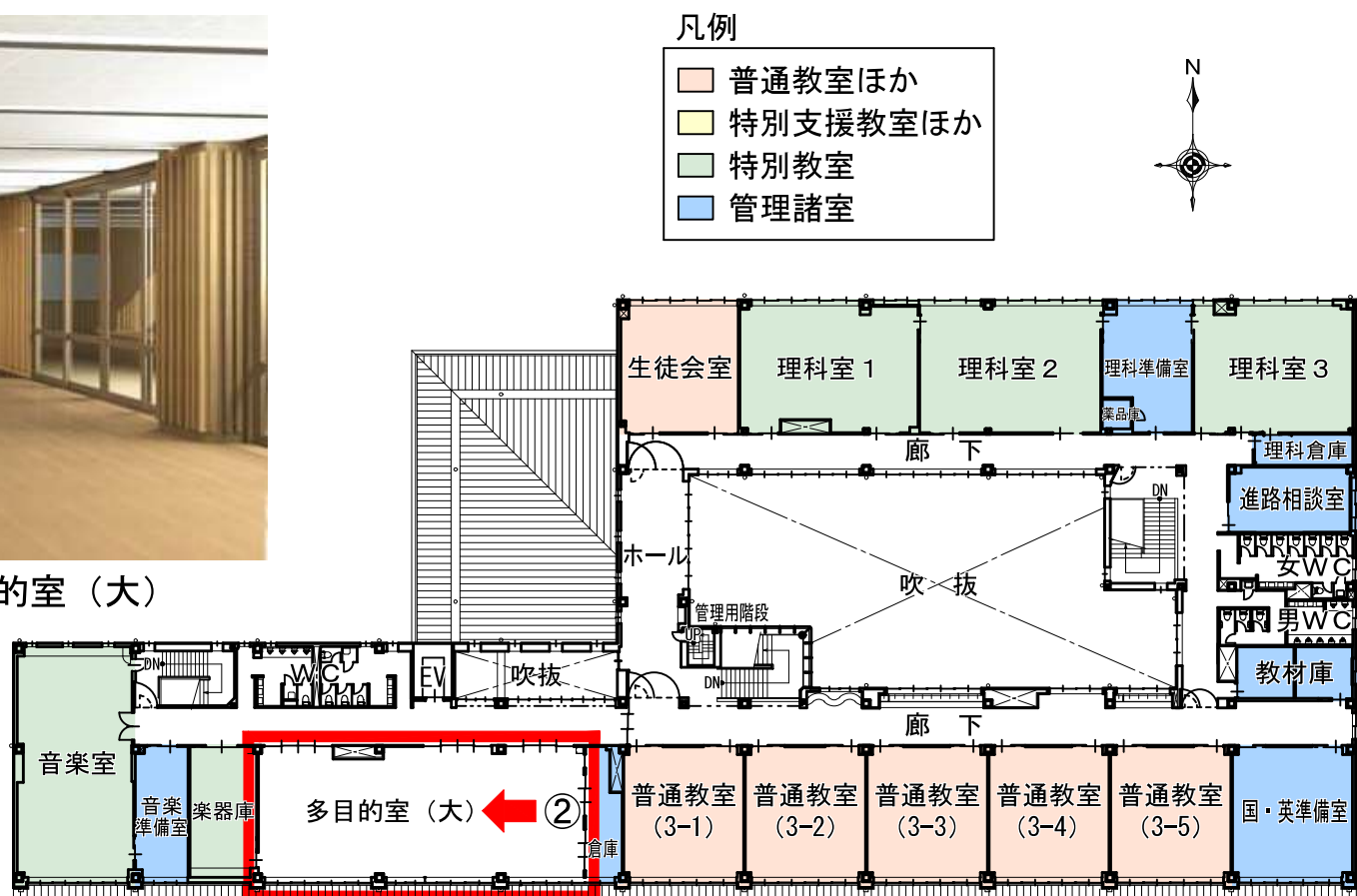
(4) 維持管理のし易さ

- ・工事期間中の安全確保のため、南側に一時的にメンテナンス出入口を新設します。
- ・建物形状をシンプルにすること、建物外周部にメンテナンス通路を確保することで将来メンテナンスし易くします。

(5) 五中歴史の保存と景観への配慮

- ・敷地北側の池と周辺植栽、カンカン塚古墳を保存するとともに、周囲の山並みに配慮した外観とします。





第五中学校の概要

(1) 校舎建設沿革

昭和36年	9月2日	第一期工事起工式
昭和37年	3月20日	第一期工事竣工（第一棟玄関以西）
	9月30日	第二期工事竣工（第一棟玄関以東）
昭和38年	3月30日	第三期工事竣工（第二棟）
昭和39年	3月15日	講堂体育館工事竣工
昭和42年	4月20日	プール工事開始
	7月12日	プール開き
昭和46年	11月24日	木工室建設竣工
昭和57年	10月8日	特別教（三棟）新築工事着工
昭和58年	3月25日	第三棟工事竣工
平成10年	2月13日	部室棟竣工
令和4年	11月30日	仮設校舎竣工

(2) 校章の由来



五中地区を俯瞰(ふかん)すると、鳳(おおとり)が飛翔している形をしています。校章はそれをかたどったものです。校章に象徴される第一の意義は神科・豊殿両地区協力の姿です。この双翼が五中を支え、協力し合うところに五中進展の基礎があるという意味をもっています。

第二として五中に育まれた若者たちは、双翼をはばたいて理想を追い続ける若鳥のように、実社会にあっても希望をかがけて有為の人材となってほしいという心をあらわします。

故北原白秋の高弟であり、現代詩人としては第一人者である藪田義雄先生による「五中校歌」が、この校舎を巣立って、紺碧の天空に理想を追求して飛翔する若鳥の姿を、感動的に格調高く歌い上げているのも、実にこの校章の意図するものと同じなのです。

上田市立第五中学校校歌

作詞 藪田 義雄
作曲 小山 章三

一 つばさ つばさ 若きつばさ

飛べよ千曲の水の上

飛べよ烏帽子の峰越えて

風に羽ばたく若鳥われら

見よや 見よや 見よや

上野が岡を巣立ちて飛べり

二 つばさ つばさ 若きつばさ

飛べよ星座を黒潮を

飛べよ輝く未来図を

生まれながらの若鳥われら

見よや 見よや 見よや

上野が岡を巣立ちて飛べり